

# 多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

【主な実施主体】国・道・市町村・民間

## 目 的

宗谷管内は、少子高齢化の進行とともに、進学や就職を契機とした若年層の都市部への流出など、人口減少が依然続いており、地域経済の縮小や、酪農や漁業、観光業といった基幹産業の担い手不足は深刻さを増しています。

一方で、近年、アジア諸国からの技能実習生をはじめとした外国人材や、都市部から志を持って当地に移り住み、地域協力活動を行う地域おこし協力隊などが、担い手として台頭しており、地域における活力維持の一翼を担うものと期待されています。

雄大な自然や豊かな食、新エネルギーの宝庫である宗谷地域が持続的に発展するためには、多様な主体が手を携え、住民ひとり一人が地域に誇りや愛着を持ちながら、宗谷の創生に一丸となって取り組んでいくことが重要です。

このことから、喫緊の課題である人材確保対策はもとより、次代を担う子ども達のシビックプライドの醸成、移住者の定着支援や多文化共生に向けた環境整備など、全ての住民が共に暮らし、支え合う地域社会の実現を目指します。

さらに、ふるさと納税や国際交流などを通じた地域との繋がり、いわゆる関係人口の創出・拡大を図るなど、地域の活性化に向けた取組の裾野を拡大します。

なお、地理的・歴史的な背景から長きにわたって友好親善、経済交流を積み重ねてきたロシア・サハリン州との交流に関しては、引き続き国際情勢を注視しつつ、地域の皆様とともに、今後の展開を検討してまいります。

## 施策展開

- 【施策】
- 人材確保対策の強化
  - 子どもたちのシビックプライドの醸成
  - 多様な人材との連携・共生のまちづくり
  - 関係人口の創出・拡大

### 〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI※）〉

○地域おこし協力隊員数 41人（R5） → 50人（R11）

○外国人居住者数 1,239人（R5） → 1,548人（R11）

# 多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト

## 現状・課題

- ◆ 人口減少や担い手不足の更なる進行
- ◆ 進学・就職を契機とした若年層の流出
- ◇ 食や観光、新エネなどに高いポテンシャル
- ◇ 技能実習生や地域おこし協力隊など多様な人材が躍進

## 喫緊の課題への対応

### 人材確保対策の強化

- 分野横断的な取組
  - ・ 宗谷地域雇用ネットワーク会議NEXT
  - ・ 新卒者を対象とした合同企業説明会
  - ・ SNSを活用した企業情報等の発信 など
- 基幹産業の担い手確保対策(再掲)
  - ・ 漁師道(漁業)、漁業就業支援フェア、農業系大学でのプロモーションなど

## 中長期的視点からの取組

### 子ども達のシビックプライドの醸成 → 将来的な定住・Uターンへ

- 地域の
- 仕事を知る
    - ・ お仕事体験、出前授業など
  - 可能性を学ぶ
    - ・ 新エネ施設見学、カーリング体験
  - 暮らしを共に守る
    - ・ 一日防災学校、鉄道乗車体験



## 新たな担い手として多様な人材から選ばれ、多くの人から応援される地域へ

- 地域おこし協力隊
  - ・ 協力隊ネットワークの構築、起業サポート等の定着支援 など
- 外国人材
  - ・ 日本語教室開催や相談体制の構築、防災訓練など
- 関係・交流人口
  - ・ ふるさと納税や国際交流等の推進  
→ 地方創生の取組の裾野拡大

## <施策毎の主な取組方向>

### ■ 人材確保対策の強化

- 人材不足解消に向けた分野横断的な取組の実施
- 地域が連携した基幹産業の担い手対策の実施(再掲)

## (取組例)

### 「宗谷地域雇用ネットワークNEXT」の取組



高校生等の地元就職や離職防止、Uターン促進などの取組強化、推進

### SNSを活用した企業情報等の発信



若年者のUターン就職を促進するため、SNSを活用し企業情報や地域情報を発信

「20歳の集い(稚内市)」でのPR活動↑

## ■ 子どもたちのシビックプライドの醸成

- 将来的な定住・Uターンを見据えた地域の「しごと」や「魅力」の理解促進
- 地域社会の一員として、「地域を共に守る、大切にする」気持ちの醸成

〔取組例〕

### 地域の 仕事 を知る



漁業士会「出前授業」



キッズマーシャラー体験

### 地域の 可能性 を学ぶ



新エネ施設見学会



金メダリストによるカーリング教室

### 地域の 暮らし を共に 守る



1日防災学校



乗りもの体験教室

## ■ 多様な人材との連携・共生のまちづくり

- 地域おこし協力隊の受入促進、地域への定着支援
- 外国人にも暮らしやすい多文化共生の実現に向けた環境整備

〔取組例〕

### 地域おこし協力隊研修会の開催



業種・地域の枠を超えた  
連携の輪を広げ、新たな  
展開や取組につなげる

### 外国人向け防災研修の開催



外国人を対象に災害発生  
時に適切な行動を取るた  
めの防災研修を実施

## ■ 関係人口の創出・拡大

- ふるさと納税の適正運用及び制度を活用した地域の魅力発信
- よそ者による「気づき」や地域への活力導入など、外部人材の受入促進
- 地方創生に係る取組の裾野拡大に向けた国際交流や自治体間交流の推進

## 関連する主な基盤整備

- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
- 高規格道路の整備
- 物流ネットワーク形成のための道路網の整備

## 関連するSDGsの目標



## 7 方針の推進

### 推進の考え方

この方針の推進に当たっては、住民や市町村はもとより、民間企業や金融機関、NPO、大学といった地域づくりを担う多様な主体と連携・協働して、道に寄せられた寄附金なども活用しながら、それぞれの地域の実情に応じた地域づくりを進めていく必要があります。

このため、市町村や地域の関係者の参画を得て、振興局所管地域ごとに「地域づくり連携会議」などを開催し、地域づくりの方向について検討するとともに、この方針の重点的な取組である「地域重点政策ユニット」を多様な主体との連携・協働により推進します。

また、この方針は、北海道地域振興条例に基づき総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って策定する「地域計画」であり、総合計画に基づく「重点戦略計画」や「特定分野別計画」と一体で推進します。

なお、方針の推進期間において、社会経済情勢に大きな変化が生じた場合は、方針について必要な見直しを検討します。

| 区分      | 概要   |
|---------|--|
| 地域計画    | 総合計画の「政策展開の基本方向」や「地域づくりの基本方向」に沿って、広域的な連携地域ごとに、めざす姿などを掲げ、地域の特性を踏まえた重点的に取り組む政策を推進する計画  |
| 特定分野別計画 | 産業、子ども・子育て、教育、医療、福祉、人権、雇用・人材、交通、環境、文化、スポーツなど特定の分野における政策の基本的な方向等を明らかにする計画   |
| 重点戦略計画  | 特定分野別計画のうち、人口減少問題、強靱な北海道づくり、デジタル化や脱炭素化といった直面する重要課題について、重点的、分野横断的に政策を推進する次の計画<br><ul style="list-style-type: none"><li>・北海道創生総合戦略</li><li>・北海道強靱化計画</li><li>・北海道 Society5.0 推進計画</li><li>・ゼロカーボン北海道推進計画</li></ul> |

### 効果的な推進

この方針を効果的に推進していくため、推進管理はPDC A\*サイクルにより行います。

振興局は「地域づくり連携会議」の場において、「地域重点政策ユニット」の進捗状況や今後の取組方向などについて点検・評価を行い、必要に応じて取組内容の充実を図ります。

また、「地域重点政策ユニット」を推進していく上で課題等がある場合は、振興局が政策提案として取りまとめ、知事を本部長とする「北海道地域づくり推進本部」において全庁横断的な調整を行い、課題の解決に向け、施策や予算への反映などに努めます。

## 推進管理の体制

この方針は、市町村や地域の関係者の参画を得ながら、振興局が主体となって策定する地域計画であることから、振興局が推進管理を行います。

## PDCA<sup>\*</sup>サイクルによる展開方針の推進



## 8 附属資料

---

※附属資料は、原案においてお示しする予定です。